



健康だより



今年も残すところわずかとなりました。北風が吹く寒い時期ではありますが、子どもたちはそれに負けないように室内や園庭で活発に活動しています。

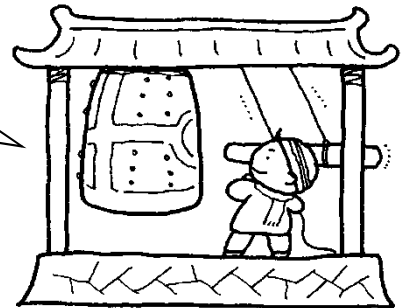
インフルエンザや感染性胃腸炎の流行が心配されるこれからの季節、園ではこまめな手洗いとうがいを徹底し、感染予防に努めたいと思います。

また、年末年始は外出や来客なども多く、生活リズムも乱れがちです。休み中も早寝早起きを心がけて規則的な生活リズムを崩さないようにしましょう。

新しい年に、また元気な顔に会えることを楽しみにしています。

年末年始、病気になった時は・・・

少し早いですが・・・
良いお年を！



・川崎救急医療情報センター・・・222-1919

急に病気になって、ケガをして困ったときに
病院や医院の案内をしてくれる。

・北部小児急病センター（多摩休日夜間急患診療所内）・・・933-1120

<受付時間> 日・祝日及び年末年始（昼間） 9：00～11：30、13：00～16：00
毎夜間 18：30～翌朝5：30 ※夜間は毎日受け付けます

・歯科の休日急患診療所（久地歯科保険センター）・・・811-0355

<受付時間> 日・祝日及び年末年始 9：00～11：30、13：00～16：00



※ このほかに、「眼科当番医」と「耳鼻咽喉科当番医」があります。詳しくは上記の川崎市救急医療情報センター（044-222-1919）にお問い合わせください。

※ かかりつけ医の年末年始の休診日を確認しておく和良好的と思います。

11月の感染症

- ★ 溶連菌感染症・・・1名
- ★ 水痘（みずぼうそう）・・・1名
- ★ 頭じらみ・・・2名



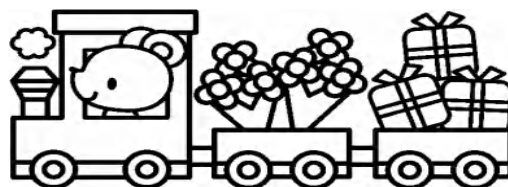
お休みに中チェック！



- ★ お手拭き・口拭きタオル・・・タオルに黒いぶつぶつ(カビ)がついていませんか？
 - ★ コップ・・・隅に水垢付いていて、黒くなっている物はありませんか？
 - ★ 歯ブラシ・・・歯ブラシを裏側から見て毛が広がってきていませんか？
- ※確認して、必要な場合は新しい物を用意して下さい。



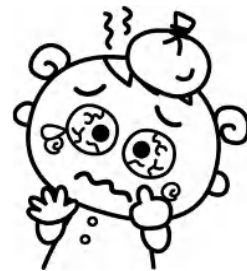
アデノウイルス感染症とは・・・



アデノウイルスは約50種類あり、いわゆる風邪の他にプール熱（咽頭結膜熱）やはやり目（流行性角結膜炎）と一般に呼ばれている病気の原因にもなっています。医師によって総称として「アデノ」と呼ぶ事もあります。アデノウイルスの種類により流行する季節や症状が異なります。しかし、最近は何年かを通してみられるようになってきました。とても感染力が強いので、家族内で発症した場合は、タオルの共有は避けて頂き、家族内での感染にも注意して下さい。

《 特徴 》

風邪症状も見られますが ★ 目やにが出る ★ 白目が赤い ★ 目をかゆがる等があります。このような症状が見られた時はアデノウイルスが疑われますので早目に受診しましょう。



※受診科は小児科か眼科ですが、発熱や風邪症状、発疹など全身症状が見られる場合は小児科にしてください。

※検査（のどやまぶたを綿棒で拭う）はする場合としない場合があります。検査をしなくても症状や経過からみて明らかにアデノウイルスと診断がつく場合、検査はしないことが多いようです。

※残念ながら今のところ特效薬はありません。対症療法（症状を緩和する治療）を用いながら、自然治癒を待ちます。医師の指示のもと、しっかりと療養し経過を見て下さい。

アデノウイルスは登園停止の病気です！

診断を受けたら医師の指示が出るまで登園停止です。許可書を持って登園しましょう！

《 園として・・・ 》

★保育中に上記の症状が強い場合は電話連絡し、受診をお願いします場合があります。

★御家庭でも目やにや白目の充血などが見られる場合は受診をして、登園可能か医師に確認してからの登園をお願い致します。



こんな時は、何科を受診する？

受診する際、どの科を受診すれば良いのか迷うことも多いと思います。

どの科を受診するか迷った時は、まず、かかりつけの小児科医を受診して治療や指示を受けることが早期回復につながります。特に乳児の場合、「目やに」が出るといった症状は、ほとんど風邪症状が原因です。そういう意味では全身を診てもらえる小児科を受診し、治療を受けることが望ましいでしょう。

（小児科医の指示で耳鼻科や眼科などの受診をすすめられる事もあります）

